

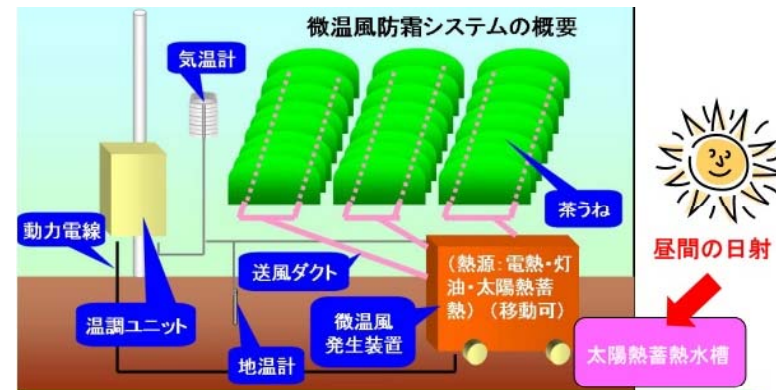
◆微温風による茶園凍霜害防止システムの開発と実証

(2011～2013年度)

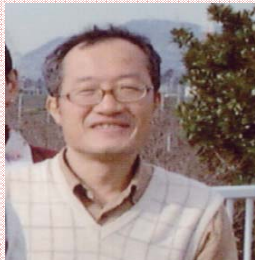
共同研究機関: (独)農研機構野菜茶研(中核機関)、九州大学大学院農学研究院、カワサキ機工(株)、大栄産業(株)、
埼玉県農林総合研究センター茶業研究所、福岡県農業総合試験場八女分場、鹿児島県農業開発総合センター茶業部、
普及支援; (社)埼玉県茶業協会、福岡県筑後農林事務所八女普及指導センター、
鹿児島県南薩地域振興局農政普及課、カワサキ機工(株)

研究概要: 地球温暖化の影響で、茶の凍霜害が増え、2010年3月には既存防霜手段がほとんど効かない茶園が多かった。そこで、強い寒気にも対応できる微温風を用いた防霜技術を早急に開発し防霜効果を実証する。

- ① 茶園における微温風防霜技術の開発
- ② 各地の茶栽培条件に適合する微温風防霜技術の開発
- ③ 微温風防霜システムの構築と技術適用マニュアルの作成
防霜ファンの効かない気温0℃以下でも凍霜害を防止できる、「微温風防霜システム」を開発し、その防霜効果を実証する。



課題提案者の感想: 産学官連携コーディネーターの支援に対して



(独)農研機構 野菜茶研
松尾喜義
研究調整役

課題提案に先立つ6ヶ月前から多くのご助言をいただきました。特に、参画企業のうち大栄産業へは、制度の説明や提案に参加する場合の周辺留意事情などを懇切にご説明いただき、企業側の不安感を減らすために多大なご支援をいただきました。その甲斐があって、こちらの希望通り参加していただくことが出来て深く感謝しております。また、最終提出日切日の深夜ギリギリまで課題内容を詳しく見ていただき、「課題名」を「…の開発と実証」とするようアドバイスしていただき、そのお陰で採択までこぎ着けることが出来たと深く感謝しています。